



いわくに市議会だより

シー

See 議会



岩国高校広瀬分校の生徒が表紙を作成してくれました



「猫の居場所」

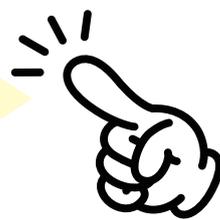
作者：岩国高等学校広瀬分校 岡崎 杏さん

《特別企画》
市議会キッズ用パンフレットつき！

目次 (主な内容)

- ▶ 臨時会ハイライト 2
- ▶ 定例会ハイライト 3
- ▶ 委員会審査報告 4
- ▶ 議案と審議結果 6
- ▶ 請願・陳情のオンライン提出 7
- ▶ 意見交換会(中山間地域振興施策調査特別委員会) 7
- ▶ 作品展示の実施報告 8
- ▶ 市議会キッズ用パンフレットの紹介… 8
 <市議会キッズ用パンフレット>
- ▶ 市政を聞く(一般質問)..... 9
- ▶ 補欠選挙は実施されません 14
- ▶ 議会だよりの表紙を高校生が作成 15
- ▶ 市議会の情報発信 16

11月臨時会 ▶ ハイライト



● 新しい正副議長が決まりました！

令和6年11月18日に開催された11月臨時会において、正副議長が選挙されました。議長には片岡勝則議員(憲政会)、副議長には藤重建治議員(志政いわくに)が選出されました。

また、議員からの監査委員の選任に係る議案が可決され、丸茂郁生議員(志政いわくに)が監査委員に選任されることに、議会として同意しました。



議長 片岡勝則



副議長 藤重建治



監査委員 丸茂郁生

● 就任にあたって

11月臨時会におきまして、岩国市議会議長、副議長に御推挙賜り、身に余る光栄でありますとともに、身の引き締まる思いでございます。

二元代表制の一翼を担う市議会の公正かつ円滑な運営を心がけるとともに、市政の伸展と市民福祉の増進のため、専心努力をいたす所存でございます。



12月 定例会 ▶ ハイライト



● 令和6年度の一般会計補正予算など 議案等32件を可決

12月定例会は、11月27日に招集され、12月23日までの27日間の会期で開催されました。

一般質問は、12月6日から10日までの3日間(休日を除く)で、17人の議員が登壇して行いました。

各常任委員会は13日から18日までの4日間(休日を除く)で開かれました。

最終日には、議案等32件を原案どおり可決し、閉会しました。

【12月定例会の日程】

月日	内容
11月 27日	本会議初日
12月 6日	一般質問
12月 9日	一般質問
12月 10日	一般質問
12月 13日	経済常任委員会
12月 16日	教育民生常任委員会
12月 17日	建設常任委員会
12月 18日	総務常任委員会
12月 23日	本会議最終日

● 障害者・障害児のための給付費の増額などを行う 補正予算を可決

障害者・障害児のための給付費を増額

1

補正額 1億4,550万円

障害者の介護・訓練サービスの利用者や障害児通所施設の利用者のための給付費を増額。



飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費の助成金を増額

2

補正額 320万円

飼い主のいない猫(野良猫)による地域トラブルの抑制や、やむを得ず殺処分される猫の未然防止を図るため、手術費用の助成金を増額。市議会の9月定例会における建設常任委員会での意見が反映されています。



● 政務活動費の収支報告書が電子メールで提出可能に (議員提出議案)

地方自治法が改正され、第100条第15項の規定により、議会に係る手続きがオンライン化されたことを踏まえ、条例を整備し、電子メールなどを用いて、政務活動費の収支報告書、領収書等を提出できるようにしました。

経 済

議案第98号

令和6年度岩国市周東食肉センター事業特別会計補正予算(第1号)

補正予算のうち、物件委託料について質疑し、審査を行った。



メンテナンス等のコストを抑えるため、さらなる調査研究を求める

問 物件委託料の内容について問う。

答 汚水処理施設の脱水装置が故障したため、汚水のくみ取りと汚泥の引き抜きを委託するものである。この脱水装置は平成6年に設置したもので、機械設備の老朽化に伴い、機械に負荷がかからないよう慎重に使用している状況にあるため、来年度予算において、新たな機械の設置を検討している。

問 複数の機能を1台でこなすような特殊な機械設備が故障した場合、修理に時間を要したり、修理費が高額になることも多く、復旧に時間がかかる。今後、修理にかかる時間や経費を少しでも抑えることができるよう、自力で修理が可能な、

一般的な機械を組み合わせる運用するなどの工夫が必要ではないか。

答 代替できる機械は汎用性の高いものを使用するようにしているが、代替が困難な大型機械などについては、類似の事業者を探すなど、今後、機能面とのバランスを考慮しながらメンテナンスのコストを抑える方法について検討していきたい。



教育民生

議案第94号

令和6年度岩国市一般会計補正予算(第4号)など12件

提案された一般会計補正予算や各特別会計補正予算、錦中学校寄宿舎の用途廃止に係る条例、北部学校給食センターの新設に係る条例等について審査を行った。



全会一致で可決

付託された予算及び条例の各議案の内容は妥当であり、本会議で可決すべきものと決した。



常任委員会では、付託された議案などの審査を行い、その経過及び結果を本会議で報告します。本ページでは、審査報告のうち、特に市民の皆様にお伝えしたい審査の経過を抜粋して御紹介します。

建設

議案第94号 令和6年度岩国市一般会計補正予算(第4号)



環境衛生費の動物保護管理事業に関し、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費助成金制度の内容について、審査を行った。

不妊・去勢手術費助成金制度のさらなる見直しと周知を求める

問 不妊・去勢手術の費用が値上げされている。また、手術済みの飼い猫が野良猫になり、保護されたのちに手術済みであると病院で判明した場合にも費用が発生し、TNR活動団体の負担が増加しているが、助成金制度の見直しは行わないのか。

答 助成金額を増額すると、助成金を使わずに飼い猫を去勢する場合の費用への影響が考えられるため、慎重に検討していきたい。また、病院で手術済みが判明したケースについては、活動団体や獣医とも協議しながら、どのよう

な手当てが可能か、今後検討していきたい。

問 いろいろな団体があるので、利用可能な制度等について、市から説明する場を設けることはできないか。

答 関係者の方々との意見交換会などを通じて、しっかりと検証を行いながら、よりよい制度となるよう努めていきたい。



総務

議案第104号 岩国市野外活動センター条例の一部を改正する条例



用途廃止となる二鹿野外活動センターのテニスコートに関して、現在の状況と今後の利用予定について審査を行った。

二鹿野外活動センターテニスコート跡地の早期の有効活用を！

問 用途廃止を予定する二鹿野外活動センターのテニスコートの現状について問う。

答 令和2年4月を最後に利用者がいない状況となっている。現在は、テニスコートのネットやポールが全て撤去された状態で、全く使用がされていない状況である。

問 この場所が使用されないまま放置されるのは、非常にもったいない。今後、当地の有効活用に向けて、どのような取組を考えているのか。

答 跡地については、昨今のアウトドアブームの影響で、キャンプ利用のニーズが非常に高まっている状況を踏まえ、キャンプサイトとしての利用を中心に、現在、検討を行っているところである。



議案と審議結果(11月臨時会・12月定例会)

【全会一致で可決した議案等】

▼報告

令和6年度岩国市一般会計補正予算(第3号)の専決処分の承認について

▼議案

- 岩国市監査委員の選任につき、議会の同意を得るについて
- 令和6年度岩国市一般会計補正予算(第4号)
- 令和6年度岩国市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- 令和6年度岩国市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 令和6年度岩国市介護保険特別会計補正予算(第2号)
- 令和6年度岩国市周東食肉センター事業特別会計補正予算(第1号)
- 令和6年度岩国市水道事業会計補正予算(第1号)
- 令和6年度岩国市工業用水道事業会計補正予算(第1号)
- 令和6年度岩国市病院事業会計補正予算(第1号)
- 令和6年度岩国市下水道事業会計補正予算(第1号)
- 岩国市運動施設条例の一部を改正する条例
- 岩国市野外活動センター条例の一部を改正する条例
- 岩国市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例
- 岩国市下水道条例の一部を改正する条例
- 岩国市農業集落排水処理施設条例及び岩国市特定地域生活排水処理施設条例の一部を改正する条例
- 岩国市学校寄宿舎設置条例の一部を改正する条例
- 岩国市学校給食センター条例の一部を改正する条例
- 岩国市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例等の一部を改正する条例
- 新岩国駅前広場整備工事請負契約の締結について
- 指定管理者の指定について【由宇文化スポーツセンター及び由宇グラウンド】
- 指定管理者の指定について【サンライフ岩国】
- 指定管理者の指定について【由宇総合交流ターミナル】
- 指定管理者の指定について【周東森林体験交流施設「丸太村」】
- 指定管理者の指定について【にしき産品ステーション】
- 指定管理者の指定の変更について【岩国運動公園ほか5施設】
- 令和6年度岩国市一般会計補正予算(第5号)
- 令和6年度岩国市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
- 令和6年度岩国市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
- 令和6年度岩国市介護保険特別会計補正予算(第3号)
- 岩国市一般職の職員の給与に関する条例及び岩国市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例

▼議員提出議案

岩国市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例

【賛否が分かれた議案等】

※議決結果 ○=可決、認定、承認、同意、採択 ×=否決、不認定、不承認、不同意、不採択
 ※議員の賛否 ○=賛成 ×=反対 退=退席(採決時不在) 欠=欠席(終日不在)
 ※議長(片岡勝則)は表決に加わりません。
 ※会派名の略称は次のとおり 共産党=日本共産党市議団、市政改革=市政改革クラブ、
 リベ=リベラル岩国、声=市民の声をきく会、日本国民党岩国=国、市=市民クラブ、草=市民ファースト草の根

件名	議決結果	憲政会					志政いわくに					公明党議員団		共産党		市政改革		同志会		リベ		声		国		市		草	
		片岡勝則	貴船齊	桑原敏幸	瀬村尚央	武田伊佐雄	松川卓司	藤重建治	藤本泰也	丸茂郁生	矢野匡亮	奥江徳成	桑田勝弘	中村豊	野本真由美	小川安士	長岡辰久	松田一志	川口隆之	広中信夫	細見正行	石原真	山本辰哉	姫野敦子	中村恒友	石本崇	重岡邦昭	広中英明	
岩国市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

請願・陳情をオンライン提出できるようになりました

【そもそも請願・陳情とは？】

請願は、憲法で保障された国民の権利の一つで、議員の紹介により、議会に請願を提出し、議会へ希望を述べることができます。

提出された請願は、3月、6月、9月、12月に開かれる定例会で審議します。委員会で慎重に審査し、本会議で採否を決めます。

陳情は、請願のように法で定められた制度ではありませんが、岩国市議会では、議会会議規則により、議員の紹介がなくても陳情を提出することができることになっています。

岩国市議会における陳情の取扱いは、議長が議会運営委員会での調査を参考に、必要と認めるもののみを委員会に送付しています。

送付された陳情は、定例会中に開催される委員会で審査し、採否を決めています(本会議では審議しておりません)。

【請願・陳情書の提出】

請願書、陳情書の提出は、今まで、原則として議会事務局まで持参していただいていたのですが、このたび、オンライン提出もできるようになりました。岩国市議会ホームページに、外部リンクの申請ページを掲載していますので、そちらから御提出ください。

申請ページから提出された請願については、後日、議会事務局から紹介議員へ確認を行います。

受付は随時行っていますが、審議のための準備の関係上、原則として、各定例会開会日7日前の午後5時までに受理したものを定例会で審議します。それ以後に提出されたものは、次回の定例会で審議することになります。

委員会の活動報告

中山間地域振興施策調査特別委員会

【地域おこし協力隊と集落支援員との意見交換会】

12月19日に、市内で活動している地域おこし協力隊や集落支援員との意見交換会を実施しました。

地域おこし協力隊は、市外から移住し、地域活動に従事しながら地域への定着を図る取組で、現在は4人の隊員が活動しています。

集落支援員は、集落の維持・活性化のために、行政や地域と協働で集落対策を講じる取組で、現在は7人の支援員が活動しています。

今回は、おのおのが地域で活動する中で感じた課題や要望などについて対話し、現在どのような状況で活動しているのかを把握することができました。今後、事業の課題や改善点などを整理し、担当課と情報共有していきます。



会期中に錦帯橋の写真を展示

議会広報特別委員会と協力して、12月定例会の会期中に市役所6階の議場周辺にて、錦帯橋世界文化遺産推進フォトコンテスト2024の受賞作品の展示を行いました。

受賞作品の観覧に併せて議会を傍聴して下さる方や、議会の傍聴に併せて作品の観覧をして下さる方もおられ、議会傍聴の認知度向上及び錦帯橋世界文化遺産登録推進のPRにつながったものと感じます。

このたびは、御観覧くださり誠にありがとうございました。

錦帯橋世界文化遺産登録推進協議会 会長 松川卓司



特別企画 岩国市議会キッズ用パンフレットの紹介

岩国市議会のことを分かりやすく伝えるために、岩国市議会キッズ用パンフレットを作成しました。

小学生でも読みやすいようルビを振っており、大人でも分かりにくい議会のことを理解しやすい内容となっています。

8ページと9ページの間に挟み込んでありますので、抜き出して御自身やお子様などと一緒に読みください。



パンフレットはこちら！

代表質問

※会派（構成員3人以上）を代表して行う質問のこと



市政改革クラブ
細見正行 議員



石破政権における地方創生について

問 石破首相は11月29日の国会で所信表明を行った。その演説の中で、総理の地方に対する思いの強さ、地域に対しての政策、

「地方創生2.0」を起動すると述べられた。そして、我が国の社会や経済の起爆剤とするため、地方創生の交付金を当初予算で倍増すると約束された。国の地方創生施策とともに岩国市の取組と今後の

展望について問う。多くの市民の夢をかたちにするよきチャンスと捉える。

答 本市では、現在策定中の次期総合戦略において、国の方針や施策等について注視しながら、地方創生の時流をしっかりと捉えた取組を検討していくことを目指し、作業を進めているところである。

▶ その他の質問

- ・物価高騰について
- ・(仮称)錦帯橋ビジターセンターと周辺整備事業について

沖縄県宜野湾市との姉妹都市提携について

問 宜野湾市とは、基地を抱える町として共通の側面を持ち、平成25年頃から保守系議員を中心に議員同士の交流も行われている状況があり、平成28年3月定例会において宜野湾市との姉妹都市縁組を求める決議が可決された。前回は、「様々な分野で交流を図り機運が醸成された時点で姉妹都市縁組を結ぶことが望ましい」とのことであった。それ以降、コロナ禍で交流が困難な時期もあったが、状況も収まり、昨年、今年と宜野湾市が本市の各種イベントに参加するなどの交流も復活してきた。本市は来年市制20周年を迎える。この節目の年に宜野湾

市との姉妹都市提携を結んではいかがか。

答 宜野湾市においては、市の附属機関である宜野湾市国際交流推進委員会が本市との姉妹提携について審議しておられる。本市からも宜野湾市への視察を実施するなど、交流を図ってきた。今後も宜野湾市の意向を把握し、各分野の交流を進めていきながら、しかるべき時期に提携を考えたい。



憲政会
松川卓司 議員



志政いわくに
藤本泰也 議員



補聴器購入助成の対象者拡充について

問 軽度・中等度難聴者等に対する補聴器の購入等に対する助成事業が、本年7月より65歳以上を対象にした認知症予防等の高齢者支

援としてスタートしている。今後、18歳以上の全ての年齢を対象とした制度に拡充していく考えはないのか。

答 議員御提案の「18歳から64歳までの補聴器購入の助成の拡大」について、補聴器は医療機器であり、

高額であるにもかかわらず、保険適用はないため、購入については全額自費となっている。18歳以降も就学を継続する場合や、就労するに当たり、補聴器の買換え等をする際に購入の助成がなくなることや、そもそも助成制度がないことにより、経済的負担が生じていることは承知している。本年7月から開始した65歳以上の高齢者を対象とした補聴器購入費助成制度の実施状況や市民からの声などを確認しながら、その効果、または問題点等がないかなどの検証を行い、より充実した制度となるよう検討していく。



公明党議員団
中村 豊 議員



ヤングケアラー支援の充実について

問 「子ども・若者育成支援推進法」が改正され、ヤングケアラー当事者に確実な支援が行き届く環境整備とともに、市区町村の役割もこども家庭庁により明確

期発見・把握に努め、関係機関で情報を共有し、役割を分担しながら個別具体的な支援につなげていく。

化された。支援の充実に向け、今後の取組を問う。

答 一人一人の児童・生徒が置かれた状況に応じて「サポートプラン」を作成し、具体的な支援を行っていく。さらに来年度以降、市立の小・中学校を対象に、年1回程度のアンケート調査を実施し、これまで以上に、対象となるヤングケアラーの早



出典：港区子ども家庭支援センター

古い校舎の改築、リフォーム計画を求める

問 公共施設の改築(建て替え)は市役所49年、消防署38年、中央公民館51年、水道局44年で行われている。旧市内には、築後50年以上経った校舎が小学校16校中10校、中学校8校中5校もある。岩国中、川下中、灘中、旧東中は既に築後63年。改築計画がなければ65年以上になる。東中は4年前に改築されている。トイレの改修と同様に教室や廊下などの改修計画を立てるべき。

答 築後60年を過ぎたものは、長寿命化改修ではなく、改築に向けた検討を行い、安全面に係る緊急性や教育面・機能面を踏まえ、内装部分を含め

個別に検討する。

- ▶ **その他の質問**
- ・黒磯地区の新しい科学センターのコンセプト
- ・入学準備費用の軽減の取組は他校の好事例の紹介
- ・指定でない物は「推奨」ではなく「任意」であることを徹底すること
- ・介護施設でのマイナ保険証は預かれないので資格確認書をつくる必要があること



日本共産党市議員団
長岡辰久 議員



一般質問

※議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くこと



同志会
山本辰哉 議員



サンライフ岩国に隣接する駐車場について

問 現在岩国徴古館の隣に博物館の建設が予定されており、完成するとサンライフ岩国に隣接する既存の駐車スペースでは

利用される方々が共同利用する形で、現在21台分の駐車スペースを設けている。新博物館完成後の駐車場の増設計画等に関しては、地元自治会等からの要望も受けており、整備に係る全体計画の中でさらなる駐車台数を確保できるように前向きに検討する。

確実に不足する。同時に管理運営を任せている指定管理者に対しても、運営上収入減は否めない。今後の駐車場増設について問う。

答 サンライフ岩国、吉香茶室、岩国徴古館を





市民の声をきく会
中村恒友 議員



新規2店舗出店に伴う交通安全対策について

問 フジ南岩国店がある南岩国町三丁目界隈の交通渋滞と交通安全対策について問う。とりわけ、狭小な市道南岩国町76号線から

旧藤生停車場・錦帯橋線方面に抜ける五差路の変則交差点の改良計画を問う。

答 既存の大規模小売店舗の隣接地に新たな店舗が出店することで、この交差点への通行車両の増加が懸念されるため、公安委員会とも協議しながら

ら現状での安全対策を検討する。根本的には、交差点を改良することが望まれるが、開店後の状況を注視しながら、費用対効果等を勘案し検討する。

▶その他の質問

- ・岩国高校記念館について、これまでの利用状況と改修工事後の利用計画について
- ・巨大地震注意・警戒への対応について



日米共同統合演習の目的と影響について

問 10月23日から11月1日にかけて、日米共同統合演習が行われた。台湾有事で多くの人々が不安を感じている中であることから、演習には理解を示す一方、基地周辺住民の生活環境に著しく影響が出たならば、市長には毅然とした姿勢で申入れを行ってほしい。こういった声も出ていた。については演習期間中の騒音被害や道路の渋滞など、基地周辺住民への影響について、どのように分析し評価したのかを問う。

答 この演習は、我が国防衛のため、日米共同統合運用能力の維持・向上を図ることを目的としてい

る。約10日間にわたる演習であり、騒音の軽減、交通渋滞など基地周辺住民の生活環境への影響を可能な限り少なくするよう国に要

請したところである。演習期間中における騒音苦情件数は実施前と比較すると、多少の増加傾向は見られたものの著しい増加はなかったものと考えている。また、約200台の陸上自衛隊車両の運用についても、市に交通渋滞などの苦情はなかった。



市民クラブ
重岡邦昭 議員



日本国民党岩国
石本 崇 議員



最新技術を活用して自然破壊の影響調査を

問 環境アセスメントを実施していない上海電力が事業主である美和町のメガソーラーの自然破壊は明白だ。上海電力からの

寄附を活用し、事業地周辺の住民の要望に応じて水路や道路の整備を実施することのだが、地質や防災関係に詳しい大学などの最新技術による自然破壊の影響調査などもできないか。

答 例えば衛星リモートセンシングなどを利用

すれば、森林の伐採や樹種までも判別でき、無届の森林伐採などを監視することもできるようなので、この技術をメガソーラー周辺の災害や自然環境の変化など、観測業務に活用することも地域の安心・安全につながるものであり、可能と考える。





日本共産党市議団
松田一志 議員



米軍岩国基地、岩国空襲の記録保存、産後ケア

問 米軍岩国基地の周辺水域でPFASが検出されたが、今後の対応と対策について問う。

答 市独自で4か所の地点の調査を実施した。

問 空母艦載機の部隊機数が明確にされていない。67機との指摘もあるが説明を求める。

答 国の説明でも市の情報収集においても約60機と理解している。

問 来年の終戦80年に向けて岩国空襲を記録してい

る小冊子「岩国駅周辺被爆記録」を復刻する考えはないか。

答 貴重な資料であり、戦争を知らない世代に記録を伝えるために検討する。

問 産科医の減少に不安の声が広がっているが、市内での分娩状況について説明を求める。

答 平成28年度959件、令和4年度617件であり、35.7%の減少となっている。

問 産後ケア事業の重要性を国も強調しているが、当市の現状について説明を求める。

答 令和7年度から産後ケア事業の拡充を実施する予定である。

産後支援の充実について

問 産後ケアを実施する助産所の開設に当たり、市の助成制度はあるのか。

答 現時点では市の助成制度はないが、市が委託する産後ケア事業を実施するための施設の創設や修繕に対しては、国の事業の活用など相談に応じていく。

問 市内に助産師同士の情報交換やスキルアップのための拠点センターを整備する必要があるの



出典：子ども家庭庁

ではないか。

答 今後検討し、産後の支援体制の充実に努めていく。

問 産後ドゥーラ導入についての見解を問う。

答 事業を行っている自治体の取組などを調査研究し、産後のサポート体制が充実するよう努めていく。



公明党議員団
野本真由美 議員



市民ファースト草の根
広中英明 議員



熊が住める山林の環境整備を求める

問 写真のとおり近年、急激かつ大規模に山林の伐採が行われているため、熊の生活環境が変わり、人里に出て来るようになったと思う。伐採した後の山林にドングリなど熊の餌となる木を植林して、動物が住める環境整備に取り組む必要があると思うが、市の見解を問う。

答 近年、熊の生息範囲が拡大し、人里に出没を繰り返す原因の一つに大規模な林地開発などが

あると感じている。熊をはじめとする野生生物の生息地として、実のなる木や広葉樹を植林するなど、森林の機能を回復させる森林環境整備は、熊の人里への出没抑制に効果があると考えている。今後、熊の管理計画を策定する山口県の情報も得ながら、効果的な森林整備や植樹等について調査研究していく。





リベラル岩国
姫野敦子 議員



子ども食堂の利用拡大支援について

問 子供たちの食事不足を補うために始まった子ども食堂は、子供たちがくつろいで過ごせる場所として、全国で9,200か所以上となって利活用が進んでいる。市内でも各地で運営されているが、全国的には公的支援も含め、子供のみならず高齢の方まで地域食堂として広がっている。様々な世代や立場を超えた大切なコミュニティ拠点として、全国の自治体を参考に市

や社会福祉協議会等の支援やフードバンクの活用などの連携を取って、温かな場所の整備を願う。

答 現在岩国市には、11団体16か所の子ども食堂が県の登録を受け、食事の提供以外にも学習支援やワークショップ、交流イベント等、主体的に実施。「フードバンク山口 いわくにステーション」には、これまでに1,400キログラム以上の御寄附をいただき、子ども食堂でも活用。今後も高齢者や障害者を含む、地域住民の交流拠点として地域、暮らし、生きがいを共に創り、高めあう社会の実現に寄与することを期待している。

带状疱疹ワクチンについて

問 50歳以上の助成制度の導入について問う。

答 本年6月20日に開催された第26回の「予防接種基本方針部会ワクチン評価に関する小委員会」において、ワクチンの有効性や安全性、費用対効果などの評価結果を踏まえ、生ワクチンと不活化ワクチンの2種類の带状疱疹ワクチンを定期接種に用いる方向性でさらに検討を進めるとの結論



が出た。市として、定期接種化が実現されるまでの間、接種を希望する方の経済的負担の軽減を図るため、令和7年度のなるべく早い時期に、接種費用の助成を開始できるように制度設計を行い、予算化に向けた調整を進めていく。なお、対象年齢については国の審議を注視しながら判断したい。



公明党議員団
奥江徳成 議員



市内の中小企業等の人材需要の認識

問 全国的に中小企業等の人材不足が深刻であり、人材の確保・育成が求められている。また賃金上昇についての報道も頻繁

に耳にする中、地方の中小零細企業にとって、今後、生産性向上の取組も、より重要になると考える。人材の取り合いが常態化しているが、中でも、人材の育成に多くの時間が必要な建設業、製造業は訓練機会も少なく、本市では、さらに重要と考え

答 精密機械や電子機器の製造において重要な役割を果たすNC旋盤工やCADオペレーターなどの生産工程従事者の有効求人倍率は2.7倍と他の業種に比べ高くなっている。また、電気工事従事者の有効求人倍率は16.0倍、土木作業従事者は16.67倍であり、建設業界全体の需要が非常に高いことが伺える。



公明党議員団
桑田勝弘 議員





憲政会
武田伊佐雄 議員



小規模特認校の導入について

問 本来、小学校・中学校の通学区域は住所により決められ、その区割りは厳格に適用される。しかし、小規模特認校は市内全域からの通学を可能にすることから、複式学級の解消や特色ある学校づくりに力を入れるなど、多くの自治体で導入されている。教育委員会が情報提供をしなければ、一般的にはあまり認知されていない制度かと思うが、本市においてはそのような情報

提供が学校運営協議会等を通じてなされたことがあるのか。

答 現在、本市において小規模特認校は設置していないが、このような小規模校ならではの特色ある教育を受けたいと希望する児童・生徒や保護者にとっては、魅力のある制度であると捉えている。教育委員会としては、小規模特認校の導入に当たり、通学距離やアクセスの問題など、地域住民の協力や合意形成が不可欠であると考えており、各学校や学校運営協議会等関係者への周知方法も含め、先進事例を踏まえて調査研究を進めている。

錦川清流線などの鉄道網存続を求める

問 錦川清流線と併走する道路は国や県の予算で管理されている。県内唯一の第3セクター路線への県からの支援は考えられないのか。

答 毎年約500万円を上限に補助金が交付されている。昨年からの支援要望しているが、県から前向きな回答がない。引き続き協議する。

問 広島市は、社会資本整備総合交付金でアストラムラインなどを整備している。本市も活用できるのではないか。

答 現在検討中の在り方案のうち、一部の案では活用できると見込んでいる。

問 岩国市には様々な交通システムがあるが、アクセスポ

イントは分散的で接続が悪い。道路と鉄道の両方を走行するデュアル・モード・ビークルを導入し、市内交通網改善と錦川清流線の観光資源化をセットにして、両方の問題点の解消を目指すことはできないのか。

答 多額の経費が必要で導入は難しい。

問 今後コストも下がるであろうし、周南には水素燃料、下松には鉄道車両メーカーがあるので、検討するべきではないか。

答 引き続き調査したい。



日本共産党市議団
小川安士 議員



欠員に伴う補欠選挙は実施されません

市議会議員の定数28人に1人の欠員が生じましたが、公職選挙法第113条第1項第6号に基づき、欠員が定数の6分の1(5人)を超えないため、市議会議員の任期満了に伴う一般選挙まで選挙が行われる予定はありません。

議会だよりの表紙を高校生が作成！

岩国市議会は、幅広い世代の市民の皆様にも市議会に興味を持っていただくきっかけづくりとして、高校生に議会だよりの表紙に掲載する作品の作成を依頼することにいたしました。

記念すべき第1回は、岩国高等学校広瀬分校に作成していただきました。

岩国高等学校広瀬分校は錦町広瀬に所在し、前身となる学校を含めると84年の歴史があり、令和7年3月をもって閉校します。

表紙を作成してくださった岡崎 杏さんをはじめとした同級生12人は、岩国高等学校広瀬分校の最後の卒業生となります。

このたびは表紙作成等への御協力をいただき、ありがとうございました。

今後も高校生の皆様に紙面づくりのお手伝いをいただきたいと思いますと考えておりますので、表紙を含めて新しくなった議会だよりに、より一層の御期待をいただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

岩国高等学校広瀬分校の皆さん

豊かな緑と地域の方に囲まれて
充実した学校生活を送られて
おられる様子が伝わってきます



作品の紹介&学校の思い出

作品の紹介



おかざき あん
岡崎 杏さん

岩国高等学校広瀬分校では、学校の敷地内に猫が入ってくることがよくあります。特に体育館前の渡り廊下でその猫は気持ちよさそうに寝ています。今回は、そんな猫と山間地域で降る雪を合わせて作りました。日常の何気ない学校の風景に見られる猫メインの表紙となっています。

今年の冬も、錦町は変わらず寒いです。

今号の表紙は、**岩国高等学校広瀬分校**に作成してもらいました！

次号の表紙は、**岩国工業高等学校**が作成してくれます！

学校の思い出

広瀬分校は今年度で閉校となります。最後の卒業生である私たち12人は全員で協力してこの1年を過ごしてきました。特に劇やバザーをした広校祭が思い出に残っています。少ない人数で感動の劇を観客に見てもらうことができました。

母校がなくなることはさみしいですが、錦町の皆さんと様々な行事を通じて、よき思い出を刻む、大切な1年を過ごしています。

LINEで市議会の情報を配信しています

岩国市議会は、岩国市LINE公式アカウントを活用して、議会の日程や「いわくに市議会だより See議会」などの情報を配信しています。

右下のQRコードをスマートフォンなどのカメラで読み取り、「岩国市」を友だち追加後に、受信設定にて「配信を希望するお知らせ2」から「市議会からのお知らせ」を選択いただけますと、通知を受け取れます。
ぜひ御登録ください。



QRコードを読み取ると友だち追加ができます。

3月定例会 2月19日(水)開会予定です。

日	月	火	水	木	金	土
2/16	17	18	19 開会	20	21	22
23	24	25	26	27	28	3/1
2	3 一般質問	4 一般質問	5 一般質問	6	7	8
9	10	11 委員会 (経済)	12 委員会 (教民)	13 委員会 (建設)	14 委員会 (総務)	15
16	17	18	19	20	21 閉会	22

※日程が変更となる可能性がありますので、議会事務局までお問い合わせください

議場に心が和む「生け花」



12月定例会の一般質問の間、「草月流岩国」の方々に生け花を展示していただきました。

編集後記

今号の表紙は、3月末に閉校する岩国高等学校広瀬分校の生徒に作っていただき、心温まる素敵な表紙となりました。今後も高校生の皆様にお手伝いいただきたいと考えております。

また、別冊企画として市議会キッズ用パンフレットを作成しました。分かりやすい内容になっておりますので、御家族で御覧ください。今後は、議場見学に来られた子供たちにも配付する予定ですので、お申込みをお待ちしております。
議会広報特別委員会

【議会広報特別委員会】

委員長: 矢野 匡亮
副委員長: 野本真由美
委員: 川口 隆之
武田伊佐雄
長岡 辰久
広中 信夫
広中 英明
松川 卓司

目の不自由な方へ

いわくに市議会だより「See議会」の音声データを希望される方は、議会事務局にお問い合わせください。(議会事務局 議事課 TEL 29-5193)

発行/岩国市議会 〒740-8585 山口県岩国市今津町一丁目14番51号 TEL(0827)29-5193 FAX(0827)21-1001
編集/議会広報特別委員会 印刷/フジ美術印刷株式会社 <https://iwakunishigikai.jp>